

令和4年度 北海道札幌白石高等学校学校関係者評価まとめ

令和5年3月27日

北海道札幌白石高等学校

1 学校教育目標

高い志を持ち、グローバルで持続可能な社会を創造する人間の育成 ◆主体的に学び、夢や希望の実現に挑戦できる実践力のある人を育てる。 ◆自己の才能や可能性を最大限に発揮し、生涯にわたって自己を高め、学び続ける人を育てる。 ◆豊かな心と健康な身体を持ち、生命を尊重する心身ともに健康な人を育てる。	学校関係者評価
取組の適切さ 文武両道を目指す校風と幅広い進路に対応し、教職員が一丸となって教育活動を実施するにふさわしい目標である	

2 自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	達成状況結果の適切さ	取組の適切さ	今後の改善方策の適切さ
		小項目							
教育課程・学習指導	教育課程等の状況	教科シラバスについて教員全体で理解され学習方法・評価等について適正な実施につ努めている。		A	A	・3か年間を見通した学習指導の実践により生徒の学習意欲と学力の向上を図る。 ・育成すべき資質・能力や学習意欲の喚起等について研修を深め、目標を共有することが必要である。 ・学業と部活動のバランスを見直し文武両道を図る。	A	A	A
		学力向上に向け、授業アンケートを実施し積極的に授業改善に取り組んでいる。		B	B				
	各教科等の授業の状況	家庭学習の習慣化に努めている。		C	B				
評価者の意見等	学力向上に向け工夫が見られる。学力向上や進路目標実現に向け、家庭学習を定着させる授業改善等を図ること								
生徒指導	生徒指導の状況	挨拶・身だしなみ等、基本的な生活習慣確立のための指導がされている。		B	B	・本校で育成すべき生徒像について、共通理解を図り一貫した指導体制を再確立していくことが重要である。 ・日頃から保健室との連携、生徒観察や声かけ、保護者との連携を密にする。 ・コロナ禍の影響により様々な悩みを抱えたり、不登校になる生徒が増加傾向にある。いじめの未然防止や早期発見に努める。	B	B	A
		生徒指導に関して、教職員の共通理解・実践が図られており、性情報が共有されている。		B	B				
	教育相談の状況	生徒の抱える悩みや問題の早期発見及び問題が発生した場合の対応が適切に行われている。		A	A				
		生徒と共感的な人間関係が構築されている。		A	A				
健康安全の状況	生徒の安心・安全を担保できる環境の構築と健康・安全・性に関する指導を積極的に行っている。		A	A	A	A	A	A	
評価者の意見等	生徒指導に関しての取組はおおむね良好ではあるが、さらに関係機関や地域との連携を図り生徒の安心安全に向けて取り組んでいくこと								
進路指導	キャリア教育推進の状況	生徒の進路意識を啓発し、将来の展望を明確にするためのキャリア教育の充実を図っている。進路実現に向けた講習の充実を図っている。		B	B	・本校の生徒に対してどのようなアプローチが有効か改めて進路シラバスを活用し、進路意識を高める指導をおこなう。 ・年次ごとに一貫した進路指導のため、保護者の協力を得る方策等を模索する必要がある。	A	B	B
		生徒の進路実現に向けた科目選択や講習等の充実を図っている。		A	A				
	保護者との連携状況	保護者との連携を十分に図った進路指導の推進している。		B	A				
評価者の意見等	生徒・教職員の信頼関係のもとPTAとも連携し、生徒自らが考え相談等しながら目標実現を目指す生徒の育成を図ること								
特別活動	行事・部活動の状況	学校行事や生徒会活動の活性化に努め、生徒の主体的な参加を促進するとともに、生徒の豊かな人間性が育成されている。		A	A	・コロナ禍の影響はあるが、以前に近い形での行事が実施できた。さらに新しい実施の在り方に向けて見直す機会とする。 ・スマホの利用マナーや頭髪・指導等について生徒会でのルールづくりや自治活動の取組としていくことが必要である。	A	A	A
		部活動と学習の両立が図られるよう指導されている。		B	B				
	行事の精選	学校行事や部活動の精選、工夫、改善に努めている。		A	A				
評価者の意見等	コロナ禍においても保護者と連携し学校行事に取り組んでいた。部活動においては生徒の意識改革を促し、学習との両立を目指し工夫し取り組むこと								
組織運営	地域連携の状況	保護者や地域への積極的な情報提供(通信・HP)に努め、積極的に意見や要望を学校運営に反映している。		A	A	・より良い白石高校を創造するため、教職員が協力して学校課題を解決していける体制づくりを大切にする。 ・改善に係る会議や研修会の開催により、教職員間の情報交換を活発におこなうことで共通理解の深化を図る。 ・教職員間のコミュニケーションを密にして知恵を出し合っより良い方向性を見出す集団の構築を図る。	B	B	B
		地域関係機関との連携による、諸活動(ボランティア等)に積極的に参加できる環境づくりに努めている。		C	B				
		PTAや同窓会、地域の関係機関との連携・協力が図られ、開かれた学校づくりが推進されている。		B	B				
	協働意識と課題の共有	前年度の反省に基づき、目標達成状況や学校運営改善のための課題の共有を図っている。		A	A				
前年度踏襲にこだわらず、職員の協働体制のもと、生徒・保護者・地域の信頼と期待に応えるべく教育活動を展開している。		A	B	A	A	A			
評価者の意見等	今年度もコロナ禍で難しい状況であったが、次年度以降ボランティア活動や災害対策等において地域との連携を深めていくこと。引き続き積極的な情報発信に努めること								